

実施体制

(下線：代表機関)

NTT西日本（株）、NTTビジネスソリューションズ（株）、（株）マクニカ、とさでん交通（株）、高知赤十字病院、イオンモール高知、四国旅客鉄道（株）、高知市、高知県

実証地域

高知県高知市

実証概要

レベル4 自動運転の実現に向けては、緊急自動車が接近した際の自動運転車両の安全確保が課題の一つとなっている。本実証では、緊急自動車が自動運転車両に接近した際に自動的に一時停車、緊急自動車通過後に再発進が可能とすることを目標とし、以下の2ステップの検証を実施する。

①：**緊急走行中の緊急自動車の接近を遠隔監視システムに通知するシステムを構築**し、緊急自動車接近時における安全な自動運転走行の実現に必要な通信・システム要件について検証する

②：自動運転車両制御システムの改修を行い、①で構築したシステムと自動運転車両制御システムを連携させ、**緊急自動車接近時に自動運転車両が自動で停車、再発進を自動的に行えることを検証**する

1. 緊急自動車の位置情報及び緊急走行中であるかの情報を遠隔監視システムへ配信することを実現

- 小型GNSS端末あるいはITS Connectを緊急自動車に搭載し、緊急自動車の位置情報及び緊急走行中であるかの情報を取得し、各社の遠隔監視システムに配信する。
- 緊急自動車の接近情報を遠隔監視システムに配信するまでの遅延時間は400ms、車両位置許容誤差は3mを目標とする。

2. 緊急自動車接近時に自動運転車両が自律的に一時停止、再発進することを実現

- 自動運転制御システムに緊急自動車の接近情報を通知し、接近を検知した場合は自動運転車両を一時停止、緊急自動車の通過後に再発進を自動的に行う。
- 乗客等へのアンケートにより、一時停止や再発進のタイミングが適切であったか等を評価する。

走行ルート

高知駅とイオンモール高知を結ぶ幹線道路。
ルート上に高知赤十字病院、高知北消防署が隣接し、自動運転車両が緊急自動車に接近する可能性が高い。

凡例：— 走行ルート ● 信号協調



1：緊急自動車の位置情報と緊急走行中であるかの情報を共有



2：自動運転車両へ緊急自動車の接近情報を共有

3：緊急自動車の接近情報を取得し自動で一時停止・再発進



自動運転車両



Nanya
Mobility製
EVO
乗車定員：10名



(株) ティアフォー社製
Minibus
乗車定員：14名